



10月16日、中央公民館で野村せつ子さんを講師に祭り寿司作りが行われ、15人が参加。うら巻き寿司や四海巻、カッブ寿司に挑戦しました。
うら巻き寿司では、普段使わないアボガドや生ハム等を使うため、少し勝手が違って巻きづらそうでした。
参加者は「題名の祭り寿司に惹かれて参加しました。見た目が色鮮やかで、食欲をそそり、味もさっぱりしていてとてもおいしかったです」と話していました。

色鮮やかな寿司作り



中央公民館では10月12日、講師に石川俊夫さんを招いて夜間陶芸教室を開催し15人が参加しました。
この教室は、夜ならば参加できる、陶芸の基本を1から学びたいかたを対象に、土いじりの楽しみや造形の喜びを学んでいたどころと今年度初めて開いたものです。
参加者は「実際初めて手びねりで湯呑みを作りましたが、形はいびつで厚さも均一にならないんですよ」と陶芸の難しさを話していました。

湯呑み作りに挑戦



明和中学校校内合唱コンクールが10月21日、ふるさと産業文化館で開かれ、1年から3年まで各クラスごとに発表。今年度の最優秀賞は3年A組の「青葉の歌」でした。
合唱の指導をされた町田先生は「各クラスとも朝、昼、放課後と自主的に練習を重ねている姿を見ると、とても頼もしく思いました。みんなの一つの作品を作り上げることの難しさ、楽しさ、喜びを合唱を通して学んだと思います」と感想を述べました。

自主的に練習を重ねて